

記者発表資料  
令和2年10月9日  
スポーツ健康課学校安全・防災チーム  
担当：遠藤（電話）022-211-3669  
メール：supokenab@pref.miyagi.lg.jp  
生涯学習課社会教育推進班  
担当：青山（電話）022-211-3654  
メール：syogake@pref.miyagi.lg.jp

地域・学校・研究機関等がそれぞれの役割や関わりを明確にし、安全教育の課題解決に向けた協議を通して、災害・交通・生活に係る安全教育の発展に資すると共に、国連防災世界会議で採択された仙台宣言の実現に向け、国際的な視野に立ち、震災後の取組について広く国内外に発信するもの。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、Webにより、パネルディスカッションの様態を配信するもの。

## 令和2年度「未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム」の開催について

1 主 催 宮城県教育委員会

東北大学災害科学国際研究所防災教育国際協働センター

2 フォーラムの内容

学校と地域が連携した安全教育の3領域（災害安全・交通安全・生活安全）について、地域、行政、大学、そして未来を担う若者が様々な視点からディスカッションします。

(1) パネルディスカッションのテーマ

「学校と地域が連携した安全・安心な地域づくりをめざして」

～自然災害等への連携した対応、新型コロナ対応も踏まえて～

(2) パネルディスカッションの内容

① 防災等における地域との関わりや現状の課題について

② 地域連携に関する体制整備について

③ 安全・安心な地域づくりに求められる若者の力について 等

(3) ファシリテーター及びパネリスト

宮城教育大学学長特別補佐特任教授 野澤 令照氏をファシリテーターに、学校安全に関する宮城県内の地域、行政、大学、現役高校生を代表する6名のパネリスト

3 添付資料 開催案内

令和2年度

<動画配信>

# 未来へつなぐ学校と地域の 安全フォーラム

学校と地域が連携した安全教育の3領域（災害安全・交通安全・生活安全）について、地域、行政、大学、そして未来を担う若者が様々な視点からディスカッションします。  
未来へつなぐ安全教育について一緒に考えてみませんか。

《動画配信URL》 <http://drredu-collabo.sakura.ne.jp/ja/event/2020/20201001post-1167>

QRコードからも御覧いただけます→



## 主催者挨拶

宮城県教育委員会

教育長 伊東 昭代

<0:00:00~0:05:53>

東北大学災害科学国際研究所防災教育国際協働センター

センター長・教授 佐藤 健

## パネルディスカッション

テーマ 「学校と地域が連携した安全・安心な地域づくりをめざして」  
～自然災害等への連携した対応、新型コロナ対応も踏まえて～

内容 防災等における地域との関わりや現状の課題について <0:05:53~0:30:35>  
地域連携に関する体制整備について <0:30:35~0:59:36>  
安全・安心な地域づくりに求められる若者の力について <0:59:36~1:22:48>  
パネリストからのメッセージ <1:22:48~1:40:41>

※ < > は映像の時間の目安です。

### ■ファシリテーター■

宮城教育大学 学長特別補佐 特任教授

野澤 令照 氏

### ■パネリスト■

東北工業大学総合教育センター 教授

小川 和久 氏

村田町教育委員会生涯学習課 副参事兼総括主査

三浦 純 氏

岩沼小学校区ふれあいパトロール隊 隊長

佐藤 隆信 氏

宮城県志津川高等学校 3年

及川 拓海 氏

宮城県教育庁 教育監兼教育次長

松本 文弘

宮城県松島自然の家 次長

渥美 眞佐男



宮城県志津川高等学校を会場に、  
熱いディスカッションを展開！



主催：宮城県教育委員会，東北大学災害科学国際研究所防災教育国際協働センター

主管：未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム実行委員会

協力：宮城県志津川高等学校

## <パネルディスカッション>

「学校と地域が連携した安全・安心な地域づくりをめざして」  
～自然災害等への連携した対応、新型コロナ対応も踏まえて～

### 出演者プロフィール

#### ファシリテーター



宮城教育大学 学長特別補佐 特任教授 野澤 令照（のざわ よしてる）氏

学校教育と社会教育での現場の経験を活かし、学校と家庭、地域が協働で取り組む教育を推進している。東日本大震災後は、復興を担う教員の育成と、未来を拓く教育に尽力している。

#### 【略歴】

仙台市立寺岡小学校長、仙台市立小学校校長会長を歴任  
文部科学省 コミュニティ・スクールマイスター  
第36次宮城県社会教育委員の会議兼第11次宮城県生涯学習審議会議長 他

#### パネリスト

小川 和久 氏 東北工業大学総合教育センター 教授



交通心理学を専門とされ、交通安全教育の第一人者として、全国の学校等の交通安全教育の推進に向けて尽力している。また、宮城県では、防災教育副読本検討委員等も務めるなど安全教育全般に助言をいただいている。

【略歴】文部科学省「中央教育審議会」臨時委員、  
平成30年より宮城県教育委員 他

三浦 純 氏 村田町教育委員会生涯学習課 副参事兼総括主査



村田町では「防災キャンプ」・「発見合宿」等の宿泊事業を展開し、子供たちの学びと交流の場づくりに励む。避難所のできるレクリエーション講座等、楽しみながら学ぶ防災プログラムを提供している。

【略歴】村田町立村田第一中学校PTA会長 他

佐藤 隆信 氏 岩沼小学校区ふれあいパトロール隊 隊員



岩沼市で地域の子供たちの登下校の見守り活動を始めて7年。現在も毎日、温かく子供たちの見守りを行い、安全・安心な登下校をはじめ、地域の健全育成の推進に尽力している。

#### 【略歴】

仙台第二高等学校長、大学特任教授・非常勤講師等を歴任、岩沼市安全・安心まちづくり委員 他

及川 拓海 氏 宮城県志津川高等学校 3年



令和元年度みやぎ防災ジュニア・リーダーに認定され、高校では、防災クラブのリーダーを務め、学校のみならず地域の防災意識を高める活動に取り組んでいる。

#### 【略歴】

令和2年3月に、宮城県の防災指導員認定

松本 文弘 宮城県教育庁 教育監兼教育次長



子供たちの安全・安心な生活のため、学校安全の様々な施策を実施。宮城県教育庁スポーツ健康課長時代には、本フォーラムを開催した他、防災教育副読本を発行するなど学校安全を推進している。

【略歴】宮城県泉館山高等学校長、宮城県教育庁スポーツ健康課長を歴任、MAP研究会会長 他

渥美 眞佐男 宮城県松島自然の家 次長



松島自然の家では、青少年や一般県民を対象に、「防災ウォークラリー」、「日用品を使ってのスリッパやマスクづくり」などの、防災等に関する主催事業や出前講座で防災教育プログラムを提供している。

【略歴】東松島市派遣社教主事、登米市立錦織小学校教頭 他

パネルディスカッションを視聴した御意見、御感想はこちらまで↓

<http://drredu-collabo.sakura.ne.jp/ja/event/2020/20201001post-1167> 内の入力ボックスへ